「広島ＳＤＧｓビジネスコンテスト」　募集要項

**実施の趣旨**

　国連全加盟国が合意をした2030年までに達成すべき目標である「ＳＤＧｓ（Sustainable Development Goals＝持続可能な開発目標）」が世界中、日本中で注目をされています。昨年度、経団連が行った企業行動憲章においてもSDGsが重視され、さらに投資家からも環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）に配慮している企業を重視して投資を行う「ＥＳＧ投資」に関するコミュニケーションが活発化する中で、日本企業のＳＤＧｓに対する関心度も急速に高まっています。

　他方で、広島県においては、これまで平和構築にむけた様々な取り組みを推進してきており、2016年度からは国際平和のための世界経済人会議として、世界中の企業や社会課題の解決に取り組むプレーヤーに集まっていただき、様々な観点から平和構築を実現するための方策を検討してきました。こうした取り組みとＳＤＧｓの達成に向けた取り組みとの親和性は高く、本年度において広島県はＳＤＧｓ未来都市の一つとして選定されることとなりました。今後様々なステークホルダーと共に、ＳＤＧｓの達成を通じた平和構築の実現に積極的に取り組んでいきます。

こうした背景を元に、広島県では企業によるＳＤＧｓビジネスの推進を活性化することを目的に、国際平和のための世界経済人会議のプログラムの一つとして，広島を基点とした，ＳＤＧｓビジネスの具体的な取組の創出を図るためのピッチセッション（以下「セッション」という）を開催します。

　選考は、書類審査、一次審査、最終審査で構成され、一次審査会は、東京、大阪、石川の3カ所で行われ、5分間のプレゼンテーションを行います。最終審査会では、サステナブル経営の世界的権威であり、ＢｏＰビジネスの生みの親でもあるバーモント大学スチュアートハート教授をはじめとするパネリストにそれぞれのビジネスプランをフィードバックしていただきます。

各審査においては、ピッチコンテスト参加団体（以下、「参加団体」という）が推進をしている、もしくは考案したＳＤＧｓビジネスに関して、2030年の未来像、直近のビジネス機会、ビジネスモデルの3点を中心にプレゼンテーションをしていただきます。

参加団体は各審査において、審査委員からフィードバックを受けることで、自らのＳＤＧｓビジネスをより持続可能でかつ社会インパクトの大きな取り組みへと発展する機会を得られます。また、最終審査会に進出した参加団体は広島県より広島ＳＤＧｓビジネスコンテストの入賞者として選定されます。あわせて、最終審査会でプレゼンした団体の中から優秀な発表を行った団体は、金沢工業大学、BoP Global Network Japan共催によるＳＤＧｓビジネスアワード2018の入賞者としても選出されます。

自社の取り組みを日本中、世界中にアピールできる機会です。是非、奮ってご参加ください。

＜参考リンク＞

▶︎ SDGs（持続可能な開発目標）　持続可能な開発のための2030アジェンダ｜外務省

　 http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/doukou/page23\_000779.html

▶︎ 2030アジェンダ | 国連広報センター

　 http://www.unic.or.jp/activities/economic\_social\_development/sustainable\_development/2030agenda/

**課題**

「国際平和実現のためのSDGｓビジネス」

**募集対象**

以下のいずれかに該当するものを対象とします。

　a)今までに活動実績があり2018年度以降も事業の継続を予定しているＳＤＧｓビジネス

　b)今後、新規に取り組もうとしているＳＤＧｓビジネスのアイデア

**開催場所**

最終審査会：広島国際会議場（広島県広島市中区中島町１−５）

一次審査会は以下の３会場にて開催します。

一次審査会（石川）：金沢工業大学15号館1階 アントレプレナーズラボ

一次審査会（大阪）：大阪駅　LUCUA　梅田蔦屋書店

一次審査会（東京）：金沢工業大学 虎ノ門キャンパス

**開催日時**

応募開始　　　　　　　　 9月26日

応募締め切り　　　　　　10月15日

一次審査会（石川・大阪）10月25日　17：30～19：30

（石川・大阪はビデオ会議でつなぎ同時開催する予定です）

一次審査会（東京）　　　10月26日　17：30～19：30

最終審査会　　　　　　　11月5日

**参加者数**

一次審査会　書類審査を通じて各会場５チーム程度選出

最終審査会　一次審査会を通じて全体で７チーム程度選出

**応募資格**

ＳＤＧｓビジネスに取り組む、もしくは取り組む意識のある個人、団体または法人。

**応募方法**

　◇応募期間　　2018年９月２６日（水）～１０月１５日（月）

　◇提出書類

　　http://www.bopgnj.org/hiroshimasdgs/

　　上記のサイトからダウンロードした応募様式をp5のお問い合わせに記載した金沢工業大学SDGs Global Youth Innovators（事務局）のメール宛に送付してください。

**応募様式**

　応募様式は、以下の5つの書式から構成されています。

様式１：申請書

様式２：2030年の未来像（長期目標）

様式３：2020年までの（短期的な）ビジネス機会と提案概要

様式４：ビジネスモデル（ピクト図解による作成を推奨）

様式５：インパクト表

　応募様式の記入事例を参照いただいた上で、必要事項をもれなく記載ください。

**参考図書**

　応募様式の作成に関して、以下の二つの参考図書を推奨いたします。

1. 「様式２：2020年までのビジネス機会」作成のための参考図書

カーティス・Ｒ・カールソン他「イノベーション5つの原則」（ダイヤモンド社）

1. 「様式４：ビジネスモデル（ピクト図解による作成を推奨）」作成のための参考図書

板橋悟「ビジネスモデルを見える化する ピクト図解」（ダイヤモンド社）

**審査の視点**

以下に評価項目とその概要を記載いたします。評価項目に照らし合わせながら、推進している、もしくは推進予定のＳＤＧｓビジネスの魅力を応募様式に表現してください。

　評価項目



**審査方法**

　応募書類による書類審査を実施し、書類審査通過者を決定します。書類審査通過者には、一次審査に参加してもらい5分程度のプレゼンテーションを実施し、一次審査通過者を決定します。一次審査通過者は、11月5日に開催される最終審査会にてプレゼンテーションをしていただきます。プレゼンテーション資料の様式は自由ですが、応募様式に記載された情報を盛り込んで作成ください。また、一次審査通過者には、最終審査会後のワークショップにもご協力いただく可能性があります。ご了承のうえ、応募ください。

　※選考通過者にはメールで通過した旨を伝えさせていただきます。残念ながら選考に漏れてしまった団体にはこちらから連絡することはありません。ご注意ください。

**入賞発表・表彰式**

　◇表彰式　　　2018年11月5日

**表彰内容**

事業化もしくは事業の発展に向けた支援として、以下を授与します。

広島SDGｓビジネスコンテスト入賞記念品 ：トロフィー、賞状

　SDGsビジネスアワード入賞記念品:賞状

　なお、第1回SDGsビジネスアワードについては、様々なＳＤＧｓ関連の国際会議での紹介やメディアでの紹介が行われたとともに、投資家とのマッチング機会等が提供されました。上記入賞者についても、同様の機会の創出が想定されます。

**全体フロー**

　STEP1：書類審査への応募

　　　　　募集概要をお読みいただき、指定の応募書類にてご応募ください。

　　　　　多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

　　　　　※選考通過者には10月18日までにメールにてご連絡させていただきます。

　STEP2：一次審査

　　　　　東京、大阪、石川の会場でプレゼンテーションによる一次審査を行います。

　　　　　通過者は「STEP3：最終審査会」にお進みいただきます。

　　　　　※選考通過者には10月31日までにメールにてご連絡させていただきます。

　STEP3：最終審査会

　　　　　広島で行われる最終審査会でプレゼンテーション。

　　　　　受賞者を決定します。

**最終審査委員**

スチュアート・L・ハート　　バーモント大学教授

平本　督太郎　　　　　　　 金沢工業大学　SDGs推進センター長

　その他（調整中）

**主催**

　広島県

**お問い合わせ**

　SDGs Global Youth Innovators(金沢工業大学)

　Mail：sdgs.gy.innovators@gmail.com

**【 注意事項 】**

　・審査内容や結果に関するお問い合わせにはお答えできません。

　・審査の結果、各賞の該当がない場合があります。

　・提出された応募書類ならびに参考資料は返却しません。

　・各審査会場までの旅費や必要となる宿泊費等の経費は応募者が負担することとなります。

　・応募書類の記載内容や画像イメージなどは主催者が行う本表彰関連の広報活動に活用させていただきます

・一次審査を通過した個人・団体には事務局から連絡いたします。

個別のお問い合わせにはお答えできかねます。

　・本賞受賞後、受賞団体に反社会的勢力との関係が明らかとなった場合には、表彰を取り消し、

　　記念品の返却を求めます。

・著作権は原則として各個人・団体に帰属しますが、企画運営に必要な範囲において主催の広島県に帰属する場合もあります。

・製品・サービスの開発にまで進展する場合は、関わる個人・団体、企業の協議によって、それぞれの権利

を明確に規定してください。

　・ファイナリストは、２０１８年１１月５日（月）の最終審査会に出席する必要があります。（団体での応募の場合、出席は代表者でなくても構いません。）

　・最終審査会で応募内容の発表を行っていただきます。本コンテストにおける応募内容等の取り扱いをご理解いただいた上で、公開を希望されない応募内容等に関しましては、本コンテストにおいて応募、開示されぬよう十分にご留意ください。

以上